

Ⅲ章 保健衛生部門

1 地域保健対策強化の概要

平成9年4月に地域保健法が全面施行され、保健所は地域保健の広域的、専門的かつ技術的拠点として位置づけられた。また、平成24年7月の「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の一部改正をふまえ、大分県では、機能強化に向けて、①健康なまちづくりの推進 ②専門的かつ技術的業務の推進 ③情報の収集、整理及び活用 ④調査及び研究等の推進 ⑤市町村に対する援助及び市町村相互間の連絡調整の推進(人材育成を含む) ⑥地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化 ⑦企画及び調整の機能の強化の7項目について保健所企画調整部門活動指針に掲げている。平成28年度、当保健所では特に下記の項目について重点的に取り組んだ。

(1) 企画及び調整の機能の強化

保健所は、地域の持つ課題に対する施策の企画立案及び関係機関との連携による施策の実施など広域的、専門的かつ技術的拠点としての機能を総合的に発揮することを目指している。

1) 大分県東部保健所運営協議会の開催

地域住民の意見を十分反映した保健所業務の運営を行うため、地域保健法（昭和22年法律第101号）第11条及び大分県保健所運営協議会条例（昭和31年大分県条例第70号）第1条に基づき、管内住民の代表者で構成される大分県東部保健所運営協議会を設置し、関係機関等との有機的連携のもとに地域保健対策を総合的に推進した。

なお、協議会は地方自治法第138条の4第3項に基づく県の附属機関として位置づけられている。

平成28年度

開催日	場 所	出席者	議題
H28. 9. 7	別府土木事務所 会議室	運営協議会委員、 保健所職員 28名	・ 東部保健所管内の概況 ・ 東部保健所行動計画 ・ 東部保健所・国東保健部・地域福祉室の取組 について

資料：東部保健所調べ

2) 東部保健所企画調整会議の開催

地域保健法及び基本指針に基づく保健所の機能強化を目指して、各課を横断した総合的な活動を展開するために、保健所の運営方針、取組内容等について検討を行った。

平成28年度

会議名	回数	構成メンバー	議題
企画調整会議	13回	所長、次長、国東保健部長、 地域福祉室長、各課長、 各班総括、企画調整担当	・ 保健所行動計画の策定及び評価 ・ 健康危機管理体制整備に向けた計画立案、 推進方策の検討・評価の実施 ・ 各種横断的会議、事業等の企画及び評価等

資料：東部保健所調べ

3) 東部地域医療構想調整会議の開催

大分県地域医療構想の策定を受け、管内における効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するため、関係者ととも医療機能の分化・連携の推進等について協議を行った。

平成28年度

実施日	場 所	出席者	議題
H28. 11. 21	ニューライ フプラザ	医師会、歯科医師会、 薬剤師会、医療関係者、 大分県後期高齢者医療広域連合、 看護協会、地域包括支援センター、 消防署、別府市、杵築市、日出町、 国東市、姫島村	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県地域医療構想の概要について ・病床機能報告結果について ・国の動向について ・次期医療計画について ・東部地域の在宅医療の現状について

資料：東部保健所調べ

4) 東部圏域在宅医療推進会議等の開催

東部医療圏域における在宅医療の推進と、市町村を超えた医療と介護の関係機関相互の連携を図るため、平成26年度から会議を設置している。平成27年度は入退院時情報共有ルール
の策定にあたり、管内関係機関との調整を行い、会議で承認を得た。

平成28年度は、ルールに参加している病院と地域包括支援センター及び居宅介護支援事業
所に対してルールの運用状況調査をおこない、調査結果を還元した。

また、東部圏域医療・介護連携担当者連絡会を開催し、圏域市町合同で研修会を開催した。

年度末には東部圏域在宅医療推進会議を開催し、平成28年度の評価と平成29年度の取り組
み予定を共有した。

① 「東部圏域版入退院に伴う病院とケアマネジャーの情報共有ルール」運用状況調査

実施日	対象	内容	結果等
H28. 8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・東部圏内ルール に参加する病院 ・地域包括支援セ ンター、居宅介護 支援事業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール運用状況 ・ルール運用のメリット ・その他 	<p>【回収状況】 居宅介護支援事業所等：95.3% 病院：32病院(33病院中)</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに情報共有がしやすくなった ・入院早期から、在宅等への退院に向けた 支援に取り組めるようになった

資料：東部保健所調べ

② 東部圏域医療・介護連携担当者連絡会の開催

実施日	場所	出席者	議題
H28. 11. 15	東部保健所	別府市、杵築市、国東 市、日出町の医療・介護連 携担当職員、保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 医師が参加する地域ケア会議について 入退院時情報共有ルールの運用状況について ・意見交換（圏域研修の実施が決定）
H29. 2. 10			<ul style="list-style-type: none"> ・東部圏域研修にかかる検討（目的、対象等）
H29. 3. 3			<ul style="list-style-type: none"> ・東部圏域研修の打合せ
H29. 3. 24			<ul style="list-style-type: none"> ・東部圏域研修の振り返り ・来年度の圏域研修計画について

資料：東部保健所調べ

③ 東部圏域在宅医療推進会議の開催

実施日	場所	出席者	議題
H29. 3. 2	ビーコンプラザ	医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、別府市、杵築市、日出町、国東市、姫島村	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町の在宅医療連携拠点整備事業の取組と課題について ・東部保健所の医療介護連携に向けた取組について ・入退院時の情報共有ルールの実用状況について

資料：東部保健所調べ

(2) 地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化

保健所は健康危機事案発生時の未然防止に努め、事案発生時には迅速かつ適切な対応を行い、健康危機管理の拠点として地域住民の安全な暮らしを守ることを目指している。

そこで、平常時の体制整備（健康危機発生時の未然防止、体制の構築）、発生時の関係機関との連携による迅速・適切な対応力向上に向けて、各種の取組を推進した。

健康危機管理体制の構築

平成15年度から、健康危機事案発生時の所内体制の整備を目的として、全職員を対象にした所内研修等を実施している。

平成28年度は、4月に発生した熊本地震への対応を踏まえ、保健所職員に必要な災害発生時の体制整備等にかかる研修や、EMIS代行入力研修を実施した。また、感染症患者移送車両の更新に伴い、職員向けに車両取扱い研修を実施した。さらに、特定家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ等）への対応に向けて、県関係部局、市町村、関係機関と連携して防疫演習に参画した。

平成27年度に引き続き、福岡検疫所の主催による、大分空港新型インフルエンザ検疫措置訓練に参画した。

		平成28年度	
	主催者及び実施日	内 容 等	参 加 者 等
健康 危連 絡 管 会 理 議	東部保健所 H28. 8. 8	①健康危機管理体制について ②感染症をめぐる動向について ・蚊媒介感染症と管内の感染症発生動向 ・食中毒の発生状況 ③熊本地震で見た課題について ・別府市の対応と公衆衛生上の課題 ・保健所等の対応状況 ・DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）	管内の医師会、歯科医師会、医療機関、消防本部、警察署、別府市、杵築市、日出町、国東市、姫島村、東部振興局、別府教育事務所、東部保健所
職 員 研 修	東部保健所 ①H28. 9. 15 ②H29. 1. 6 ③H29. 2. 28	①鳥インフルエンザ対応PPE着脱訓練 ②保健所の災害対策（ICS+EMIS研修） ③健康危機管理研修（1類感染症を想定したPPE着脱訓練、新型患者搬送車取扱い説明等）	①東部保健所、別府土木事務所職員 ②③東部保健所職員
	国東保健部 H28. 11. 1	防護服の着脱訓練	国東保健部、東部振興局、国東土木事務所職員、国東市役所職員

健康危機管理シ ン	東部振興局 H28.11.11	東部地区特定家畜伝染病防疫演習 ・管内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例が発生したとの想定で、集会場、クリーンゾーンの会場設営、健康チェック、防護服着脱等一連の流れを実施した。	東部振興局、日出水利耕地事務所、宇佐家畜保健衛生所、別府・国東土木事務所、国東市、別府・杵築日出・国東の各警察署、東部保健所、国東保健部
各種 情報 提供	県・保健所ホームページ	健康危機管理に関する各種情報提供 ・感染症発生動向調査結果の提供 (大分県保健所健康危機管理情報提供システム「あなたの街の感染症情報」の活用) ・東部保健所ホームページへの情報掲載 ・市町村報、新聞、TVへの情報提供	住民、関係機関職員等を対象
	iFaxによる情報送信(随時)	・注意喚起情報の提供 2回 (麻疹、ノロウイルスについて注意喚起)	管内関係機関(登録施設)
管 物 理 品		健康危機管理に必要な機器・機材及び物品の整備	

資料：東部保健所調べ

(3) 人材育成

1) 看護学生等実習生指導

【東部保健所】

平成28年度

施設名	受入人数	受入期間
大分県立看護科学大学(学部生)	8名	H28.5.9~7.8(5週間)
大分県立看護科学大学(大学院生)	2名	H28.6.20~12.9(5週間)
別府医療センター附属大分中央看護学校	31名	H28.6.13~12.16(3日間、6週間)
大分大学医学部看護学科	8名	H28.11.7~H29.3.10(2週間)
計	49名	

資料：東部保健所調べ

【国東保健部】

平成28年度

施設名	受入人数	受入期間
大分県立看護科学大学	4名	H28.5.9~5.13(5日間)
大分県立看護科学大学	4名	H28.5.30~6.3(5日間)
大分大学医学部看護学科	2名	H29.1.10~1.27(5日間)
計	10名	

資料：東部保健所調べ

2) 公衆栄養学臨地実習指導

平成28年度

施設名	受入人数	受入期間
中村学園大学 九州栄養福祉大学	4名	H28.10.3、H28.10.4~10.7(5日間)
別府大学	4名	H28.10.3、H28.10.11~10.14(5日間)
	2名	H28.10.3、H28.10.16~10.19(5日間)
	3名	H28.10.3、H28.10.24~10.27(5日間)
計	13名	

資料：東部保健所調べ

3) 管内保健師の人材育成

① 東部保健所管内地域保健・福祉従事者会議

平成28年度

実施月	場 所	時間	回数 (延)	参加者数 (延人員)	内容
H28. 4月 ～H29. 3月 (8月は休会)	東部保健所、 管内各市役所・ 町役場会議室	13:30 ～ 15:30	11回	321人	①各機関からの情報提供、参加者間での共有 ②グループ検討 「テーマ：地区活動に立脚した活動の強化」 ③事例検討

資料：東部保健所調べ

② 国東保健部管内地域保健活動研究会

平成28年度

実施月	場 所	時間	回数 (延)	参加者数 (延人員)	内容
H28. 4月 ～H29. 3月	国東保健部 国東市保健センター	13:00 ～ 16:30	12回	225人	①各機関からの情報提供、参加者間での共有 ②これまでの保健活動とこれから、みんなに伝えたい思い（報告） ③活動振り返りシートを用いてPDCAサイクルを描こう（報告） ④地域診断「データから見る市村の姿」 ⑤壮年期の健康づくり ⑥ケーススタディ

資料：東部保健所調べ

4) 新任期保健師の人材育成

平成26年3月の厚生労働省健康局通知「地域における保健師の保健活動について（保健師活動指針）」において、保健師の保健活動の基本的な方向性の10項目の1つに「地域診断に基づくPDCAサイクルの実施」が示された。

県医療政策課がおこなう新任期保健師研修会と連動し、地域診断の実際を学び、効果的な保健活動が展開できる能力を養うことを目的に、研修に取り組んだ。

平成28年度

	実施日	内容等	対象者・参加者等
地域診断の 実践	H28. 5月 ～H29. 3月	各市町村の人口動態・人口静態、死因統計のデータ収集・加工・読み取りを通して、各市町村の地域保健の現状を整理した。 採用2, 3年目の保健師においては、さらに、各自の担当分野の取り組み状況を表やグラフにまとめ、アセスメントから健康課題を抽出し、業務の優先順位の検討や、実施結果をまとめた。	対象：新任期保健師 12名 ※指導保健師は、随時、新任期保健師の相談に乗りながら、一緒に地域診断をすすめていった。
地域診断 研修会	①H28. 8. 2 ②H28. 9. 28 ③H28. 10. 12 (①は県医療政策課主催の研修)	県医療政策課主催の研修において、地域診断の基本的な知識・手法等を学んだ。 東部保健所で実施した研修会では、対象を、採用1年目と、採用2, 3年目に区別し、新任期及び指導保健師の進捗状況に応じた講義、質疑応答や意見交換をおこなった。	①対象：新任期及び指導保健師、企画調整担当者 ②対象：採用2, 3年目及び指導保健師 ③対象：採用1年目及び指導保健師

地域 診 断 実 践 報 告 会	①H29. 2. 8 (医療政策課主催)	地域診断の実践を踏まえ、各地域の保健統計、健康状態、担当分野の優先課題とそれに対する取り組み等について発表した。 国東保健部管内の報告会には、大分県看護協会から、助言者として甲斐久美子氏に参加していただいた。	①対象：新任期及び指導保健師、企画調整担当
	②H29. 2. 22 (国東保健部管内)		②対象：新任期及び指導保健師、各所属担当課長、企画調整担当 計23名
	③H29. 3. 9 (東部保健所管内)		③対象：新任期及び指導保健師、各所属担当課長、企画調整担当 計20名

資料：東部保健所調べ

5) 自治医科大学生の地域医療実習

保健福祉行政等の実際を学び、地域・医療・保健・福祉・行政の各分野で活躍できる人材の育成を目的として自治医科大学が5年生を対象に行う地域医療実習について、実習生の受入れを行った。

平成28年度

実施日	場所	受入人数	内容
H28. 11. 14 ～11. 18	東部保健所 救護施設「溪泉寮」 姫島村国民健康保険診療所 等	5名	東部保健所の概要、所管業務に関する説明のほか、各種検査業務への同行、診療所訪問を行うことで、保健福祉行政に関する実践的体験の機会等を提供した。

資料：東部保健所調べ

(4) 県民健康意識行動調査

大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」に掲げる「健康寿命日本一」を実現するため、生活習慣等の健康に関する意識・行動の現状を把握し、健康課題の要因となる生活習慣の市町村の地域差を明らかにするとともに、健康増進法第8条に基づく大分県健康増進計画の次期改訂に向けた基礎データの集約を目的に実施した。

調査員説明会

実施日	市町村	場 所
H28. 6. 6	日出町	日出町役場
H28. 6. 7	杵築市	杵築市健康推進館
H28. 6. 14	国東市	国東保健センター
H28. 6. 15	姫島村	姫島村保健センター
H28. 6. 16	別府市	東部保健所

資料：東部保健所調べ

実施状況

有効回答数（有効回答率）

調査期間	市町村	生活習慣調査	栄養摂取状況調査	
				(再掲)生活習慣調査
H28. 6～ 7月	別府市	685枚 (55.2%)	187枚 (73.9%)	181枚 (71.5%)
	杵築市	608枚 (63.4%)	214枚 (84.9%)	221枚 (87.7%)
	日出町	566枚 (59.3%)	176枚 (71.3%)	185枚 (74.9%)
	国東市	650枚 (68.6%)	219枚 (88.3%)	217枚 (87.5%)
	姫島村	574枚 (89.3%)	233枚 (95.5%)	235枚 (96.7%)

資料：東部保健所調べ

栄養摂取状況調査は、簡易型自記式食事暦法質問票にて実施

管内市町村の健康に関する地域特性と課題

	地域特性	課題
別府市	<ul style="list-style-type: none"> 標準化死亡率は、慢性閉塞性肺疾患、肺がんで全国より高い。 県平均と比べ、メタボリックシンドローム該当者が男性で多く、50歳代の生活習慣病有病者が女性で多い。 食生活では、県平均と比べ、アルコール、菓子類などの摂取が多い。また、朝食を食べない人が県平均と比べて多い。 	肺がんや慢性閉塞性肺疾患の死亡率が全国と比べて高く、喫煙者の割合も県平均よりも高い一方で、肺がん検診を受ける人は県平均と比べて低い。
杵築市	<ul style="list-style-type: none"> 標準化死亡率は、急性心筋梗塞で全国より高い。 県平均と比べ、女性のメタボリックシンドローム該当者が多い。 食生活では、県平均と比べ、脂っこいもの、ジュースや果物など甘いものを好む人が多い。 喫煙については、県平均よりも喫煙者が多い。 	自分の歯が27本以下の人が県平均よりも多く、歯科検診を定期的に受ける人は県平均よりも少ない。喫煙者の割合は、県平均より高い。
日出町	<ul style="list-style-type: none"> 標準化死亡率は、全国と比べて有意に高い疾患はなく、全国とほぼ同じものが多い。 県平均と比べ、女性のメタボリックシンドローム該当者が多い。 食生活では、県平均と比べ、脂っこいもの、麺類などを好む人が多い。 アルコール摂取は、県平均と比べて少ない。 	食生活について、特に男性では、菓子や砂糖類、漬け物、めんスープ、しょう油などの塩分摂取量が多く、女性ではパンの摂取が多い。
国東市	<ul style="list-style-type: none"> 標準化死亡率は、急性心筋梗塞、脳血管疾患で全国より高い。 県平均と比べメタボリックシンドローム該当者が多く、特に女性が多い。 食生活では、県平均と比べ、ジュース類を好む人が多く、砂糖類の摂取が多い。 アルコール、野菜、海藻の摂取は少ない。 	肥満者が多く、特に40～64歳の壮年期で肥満者が多い。
姫島村	<ul style="list-style-type: none"> 県平均と比べ、女性のメタボリックシンドローム該当者が多い。 食生活では、県平均と比べ、アルコール、しょう油、めんスープによる塩分、麺類の摂取が多い。 野菜、果物、海藻、キノコ類の摂取は少ない。 	肥満者が多い。また、女性のメタボリックシンドローム該当者が多い。

資料：県民健康意識行動調査報告書